

2022 年度 事業報告

2022 年 4 月 1 日から
2023 年 3 月 31 日まで

一般社団法人大学スポーツ協会

第5期実施事業の概況報告

I 総括

2022年度においても新型コロナウイルスの影響は継続をし、さまざま対策を施しつつ事業を実施いたしました。このような環境の下で、本協会としては予定していた事業の実施時期や実施形態の変更を適宜行うとともに、コロナ禍においてもスポーツを存続させることを目的に、運動部学生や大学・競技団体に対する支援プログラムを実行して参りました。結果として、年度当初に設定した会員数目標は未達成であったものの、パートナーとの共同事業の進展や学生・大学・競技団体支援プログラムを通じて、UNIVAS に対する認識や存在価値の浸透は図られてきた一年でありました。

II 新型コロナウイルスの影響と対応

(1) 事業活動への影響

1) 主催イベントの延期・縮小

- ▶三密の回避、不要不急な事柄自粛の要請を受け、当初予定していた各種事業においては、その事業の特性に応じて変更を行った。

開催手法変更	・ありもり会議、リーダーズキャンプ（東京開催）はオンラインに変更して開催をした。
--------	--

2) テレワークの推進

- ▶前年度に引き続き、事務局業務においてもテレワークの推進による出勤者数の削減、通勤混雑解消に向けたフレックスタイム制を実施した。

(2) 会員における感染拡大防止活動のサポート

1) 官公庁通達の一元化と会員への発信

- ▶内閣官房からの全般にわたるコロナ対策やイベントに関するガイドライン、文部科学省からの大学に対する通達などに関しては、UNIVAS がハブとなって大学・競技団体会員に通達を伝達した。

各種通達の伝達	10回
---------	-----

2) スポーツ活動再開ガイドラインの更新

- ▶一昨年度に策定した with コロナ環境での運動部活動における順守事項等のガイドラインを新たな政府の方針を踏まえ更新を行った。オフィシャルサイトに掲載することにより、UNIVAS 会員のみならず広く一般への発信を行っている。

12/5	・ 感染症予防全般および大学、運動部として実施すべきことを緩和方向へ追記し、第7版を公開。
3/13	・ 政府の「マスク着用の考え方の見直し等について」に合わせ、マスク着用に関する箇所の記述を修正。ガイドラインのタイトルを「再開」の文言を削除し、「新型コロナウイルス感染症対策としての『UNIVAS 大学スポーツ活動ガイドライン』」に変更。

(3) 運動部学生と会員を支援する新たなプログラムの展開

1) 学生アスリートのモチベーションキープ

① 試合動画の共有サービス開始

▶ UNIVAS が保有する UNIVAS CUP 試合動画を、会員大学・競技団体に貸与、会員の自サイトで展開することで会員のスポーツプロモーションをサポートする仕組みを展開。

利用 会員	9 競技団体 1 大学	日本学生サーフィン連盟 全日本学生テニス連盟 日本馬術連盟 全日本大学バレーボール連盟 日本オリエンテーリング協会 全日本学生アーチェリー連盟 日本学生ライフル射撃連盟（現:日本学生射撃スポーツ連盟） 全日本学生柔道連盟 日本スポーツチャンバラ学生連盟 日本体育大学
----------	----------------	--

2) スポーツ活動継続に向けたサポート

① 体温・体調管理システムの無償提供

▶ 運動部活動の再開に当たってはメンバーの日々の体調管理が重要であることから、株式会社ユーフォリアの協力のもと、部としてのメンバー体調管理をサポートする「ONE TAP SPORTS for UNIVAS 体調管理システム」の希望運動部への無償提供を実施した。

無償提供期間	2022/4/1～2023/3/31
利用運動部数	606 運動部
利用運動部員数	11,361 名

② UNIVAS CUP 指定大会の開催支援

i) スポーツセーフティネット制度

▶ 天候と件等不可抗力な事由により試合・大会が中止になった際の増加費用を補償する

保険制度を新設、UNIVAS CUP 指定大会 21 大会を補償の対象として大会開催における競技団体のリスク軽減を図った。

対象 21 大会	全日本大学野球選手権記念大会
	全日本学生アーチェリー男子王座決定戦
	全国大学ゴルフ対抗戦
	全日本学生なぎなた選手権大会
	日本学生テニス選手権大会
	全日本学生レスリング選手権
	全日本大学ソフトボール選手権大会（女子）
	全日本大学ソフトボール選手権大会（男子）
	全日本大学選手権大会（ローイング）
	全日本大学アルティメット選手権大会本戦決勝戦
	全日本学生テコンドー選手権大会
	日本学生オリエンテーリング選手権①
	全日本バレーボール大学男女選手権大会
	全日本学生馬術大会
	秋季全日本学生サーフィン選手権大会
	全日本学生ホッケー選手権大会
	少林寺拳法全日本学生大会
	全日本学生空手道選手権大会
	スポーツチャンバラ全日本学生大会
	全日本学生グライダー競技大会
	日本学生オリエンテーリング選手権②

ii) 無観客試合に対する広報支援

- ▶ 当初日程からの延期により開催を果たした UNIVAS CUP 指定大会もほとんどが無観客開催を強いられた為、UNIVAS LIVE としてライブ配信を拡大して配信し、現地で応援できない学生や大学関係者への情報発信を行った。

※配信実績は 19 ページの動画配信実績に含む

iii) 試合会場での感染拡大防止対策備品の供給

▶ 選手や大会関係者に対するコロナ感染防止対策の継続は必要なため、検温システムやアルコール消毒液等の感染対策備品の貸し出しと供給を行った。

供給先大会	供給物	総額
第 61 回全日本学生アーチェリー男子王座決定戦 第 57 回全日本学生アーチェリー女子王座決定戦 第 59 回全国大学ゴルフ対抗戦 第 45 回全国女子大学ゴルフ対抗戦 第 61 回全日本学生なぎなた選手権大会 日本学生テニス選手権大会 (第 90 回男子) 日本学生テニス選手権大会 (第 66 回女子) 第 58 回全日本学生カヌースプリント選手権大会 全日本学生レスリング選手権大会 第 57 回全日本大学女子ソフトボール選手権大会 第 57 回全日本大学男子ソフトボール選手権大会 第 49 回全日本大学選手権 (ローイング) 第 33 回全日本大学アルティメット選手権大会 本戦決勝戦 全日本学生柔道体重別選手権大会 (男子 41 回) 全日本学生柔道体重別選手権大会 (女子 38 回) 第 16 回全日本学生テコンドー選手権大会 全日本学生スポーツ射撃選手権大会 (第 69 回男子総合) 全日本学生スポーツ射撃選手権大会 (第 35 回女子総合) インカレスプリント・ロング 2022 (オリエンテーリング) インカレミドル・リレー 2022 (オリエンテーリング) 全日本学生馬術大会 第 51 回秋季全日本学生サーフィン選手権大会 第 71 回男子全日本学生ホッケー選手権大会 第 44 回女子全日本学生ホッケー選手権大会 全日本大学アメリカンフットボール選手権	サーモグラフ イ 非接触型体温計 手指用アルコール消毒液 設備用アルコール消毒液 ハンドソープ フェイスガード ペーパータオル ビニール袋 ビニール手袋 除菌ウェットティッシュ	3,834 千円

第 56 回少林寺拳法全日本学生大会 全日本学生空手道選手権大会 第 75 回 秩父宮賜杯全日本バレーボール大学 男子選手権大会 第 69 回 秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学 女子選手権大会 全日本大学対抗選手権大会男子(ウェイトリフティング) 全日本大学対抗選手権大会女子(ウェイトリフティング) 第 29 回スポーツチャンバラ全日本学生大会 全日本大学バスケットボール選手権大会 第 63 回全日本学生グライダー競技大会		
--	--	--

iv) 競技団体横断型での補助金申請

- ▶上記 ii) 及び iii) の具現化においては、該当する競技団体を UNIVAS が取り纏め、スポーツ庁が進める「全国規模のスポーツイベント等の開催支援事業」の補助金一括申請を行った。

補助金受給団体	補助金総額
公益社団法人 日本アメリカンフットボール協会 一般社団法人 全日本学生アーチェリー連盟 公益社団法人 日本ウェイトリフティング協会 公益社団法人 日本オリエンテーリング協会 一般社団法人 全日本学生カヌー連盟 一般社団法人 全日本学生空手道連盟 公益財団法人 日本学生航空連盟 日本学生ゴルフ連盟 一般社団法人 日本学生サーフィン連盟 一般財団法人 少林寺拳法連盟 一般社団法人 全日本学生柔道連盟 公益社団法人 全日本学生スキー連盟 一般社団法人 日本スポーツチャンバラ学生連盟 一般社団法人 日本学生ソフトテニス連盟 一般社団法人 全日本大学ソフトボール連盟 一般社団法人 全日本テコンドー協会 全日本学生テニス連盟 公益社団法人 日本トライアスロン連合 公益財団法人 全日本なぎなた連盟	95,236 千円

全日本学生ハンドボール連盟 公益社団法人 日本馬術連盟 一般財団法人 全日本大学バスケットボール連盟 一般財団法人 全日本大学バレーボール連盟 一般社団法人 日本フライングディスク協会 日本学生ホッケー連盟 公益社団法人 日本ローイング協会 一般社団法人 日本学生射撃スポーツ連盟 一般社団法人 全日本学生レスリング連盟	
--	--

III 実施事業の概要

1. 学業充実・デュアルキャリア形成施策の提供・推進事業

(1) UNIVAS 研修会の開催

- ▶ コロナ禍の影響を鑑み、オンライン方式にて大学スポーツ管理者セミナー、大学スポーツ指導者セミナー（修了証発行講座）を開催した。

	月日	受講人数
大学スポーツ 管理者セミナー	8/18	45名
	8/24	36名
大学スポーツ 指導者セミナー (修了証発行講座)	8/8	20名
	9/6	35名
合計		136名

(2) 学習支援プログラムの提供

- ▶ 大学入学後の学業充実の準備に向けて、スポーツ推薦等入学予定者等を対象とした入学前の教育プログラムや入学後のオリエンテーションや正課授業の中で活用できる教材をアカデミックパートナーである株式会社 KEI アドバンスとともに展開し、以下の教材を 19 大学 3,278 人に提供した。

教科	教材
—	1. 大学の運動部学生のための学びのハンドブック
—	2. スポーツ知への招待
数学	3. 運動部学生のためのスポーツ探究数学入門
英語	4. 運動部学生のためのスポーツ探究英語入門
国語	5. 運動部学生のためのスポーツ探究ことば入門*
日本語	6. 大学生活 学びのための「読む」「書く」入門

(3) デュアルキャリア形成支援プログラムの提供

▶ 在学生のデュアルキャリア形成をサポートするプログラムをトップパートナー企業である株式会社マイナビと協業にて推進した。

1) DC ONLINE

▶ My UNIVAS メニューとして、a) オンラインセミナー・b) 自己分析ツール・c) キャリア相談窓口の3メニューを展開した。

a) オンラインセミナー	・受講人数 1,055 名
b) 自己分析ツール	・受検人数 879 名
c) キャリア相談窓口	・相談利用人数 902 名

2) DC ONLINE for TEAM

▶ DC ONLINE で設定している 12 の資質・能力をテーマに全 3 回または 6 回で大学の運動部を対象に対面型のセミナーを実施した。

実施大学	運動部	受講人数
帝京大学	ラグビー部	130 名
大阪体育大学	レスリング部 (男女)	10 名
富士大学	サッカー部、テニス部	97 名
近畿大学	女子ラクロス部	35 名
山梨学院大学	ホッケー部 (男女)	76 名
八戸学院大学	ラグビー部 (男女)	60 名
羽衣国際大学	野球部	30 名
大阪大谷大学	陸上競技部、サッカー部	40 名
広島経済大学	男子バスケットボール部	12 名
流通科学大学	女子バレーボール部	15 名
日本ウェルネススポーツ大学	野球部	100 名
立命館大学	アメリカンフットボール部	130 名

3) リーダーズキャンプ

▶ 運動部キャプテンを主な対象としたリーダーシップや組織マネジメントを学ぶセミナーをオンラインで開催した。

月日	受講人数
12/10	6 名
12/11	3 名
1/15	24 名

1/22	14名
2/19	12名
2/27	7名
合計	66名

4)組織マネジメント研修

▶運動部の主務・マネージャーを主な対象に組織マネジメントを学ぶ研修会をオンラインで実施した。

月日	受講人数	月日	受講人数
10/1	8名	3/13	12名
10/15	2名	3/20	7名
10/22	4名	3/22	5名
10/30	0名	3/27	8名
11/5	2名	3/28	5名
11/13	6名		
11/19	9名		
11/26	10名		
合計			78名

5)人間力育成セミナー

▶運動部の管理者/指導者、運動部学生を対象に、運動部活動を通じて学生の人間力を向上させるための研修をオンラインにて実施した。

テーマ	月日	受講人数 (管理者・指導者)	月日	受講人数 (学生)
計画力	4/25	11名	4/18	4名
課題発見力	5/23	8名	5/16	33名
生き抜く力	6/27	11名	6/20	5名
主体性	7/25	10名	7/11	6名
挑戦し続ける力	8/29	6名	8/22	13名
セルフコントロール	9/26	6名	9/12	5名
環境理解力	10/24	6名	10/17	5名
人間理解力	11/28	8名	11/21	4名

傾聴力	12/19	6名	12/12	5名
創造力	1/30	13名	1/23	7名
発信力	2/27	11名	2/20	5名
実行力	3/20	7名	3/27	3名
合計		103名		95名

6)自己認識力養成プログラム

▶DC ONLINE の自己分析ツールを活用した、自己認識力の向上を目指したプログラムをオンラインで実施した。

月日	受講人数
6/13	11名
9/5	15名
12/5	6名
3/13	10名
合計	42名

7)コミュニケーション講座

▶運動部の指導者と学生幹部スタッフが一緒に参加し、「コミュニケーション」や「モチベーション」について学ぶセミナーをオンラインで実施した。

月日	受講人数
7/9	8名
8/20	8名
2/26	8名
合計	24名

8)大学・競技団体別デュアルキャリア形成セミナー

▶運動部学生向けに実施している各種セミナーを大学や競技団体向けに、正課授業やキャンパス向けの学内研修等において実施した。

月日	開催場所	開催方法	セミナー名	受講人数
8/26	日本学生オリエンテーリング連盟	オンライン	自己認識力養成プログラム	4名
11/17,12/1,12/8	福岡大学	対面	ステップアップセミナー	270名
1/19	大阪大谷大学	対面	キャリアデザイン講座	61名
2/7	富士大学	対面	リーダーズキャンプ	33名
2/16	桃山学院大学	対面	コミュニケーション講座	48名

2/17	九州産業大学	対面	組織マネジメント研修	35名
3/8	滋賀県立大学	対面	リーダーズキャンプ	107名
3/31	熊本学園大学	対面	リーダーズキャンプ	57名

9)就職セミナー

▶運動部学生 3-4 年生を対象に出遅れがちな就職活動をサポートする運動部学生専用プログラムの展開を開始した。

月日	内容	参加人数
5/23	運動部学生必見！部活と就活を両立するためのインターンシップ活用術	580名
8/1,8/29,9/5	運動部学生と会いたい企業が集まる就職マッチングイベント	19名
2/6	就活準備講座 ～自己分析・企業研究～	140名
2/20	就活直前 WEB セミナー	273名
3/8	就職セミナー（東京・大阪）	(東京) 167名 (大阪) 102名

2. 安全安心なスポーツ環境整備の推進事業

▶冒頭に記した新型コロナウイルス感染拡大防止への対応に加え、「UNIVAS SSC 制度」や「UNIVAS 安全安心ガイドライン」、「UNIVAS 相談窓口」の普及活動を推進した。

(1) UNIVAS SSC 制度

▶UNIVAS 安全安心ガイドラインにて規定した 13 項目に関する実現状況を実査評価し、認証を発行する「UNIVAS SSC 制度」を推進した。

UNIVAS SSC 発行	8 会員・累計 11 会員	[SSC 発行会員] 帝京大学/羽衣国際大学/(公財)日本ウエイトリフティング協会(全日本学生ウエイトリフティング連盟)/関東学院大学/愛知学院大学/日本福祉大学/山梨学院大学/武蔵丘短期大学
予備審査受講済み	累計 17 会員	
説明会参加、個別相談	32 会員	

(2) 相談窓口の設置

▶大学の運動部におけるハラスメント問題等に関して、学生のみならず関わる指導者や父兄からの相談を直接承る「UNIVAS 相談窓口」を継続開設。JSC のドーピング通報窓口を記載。認知拡大に向けてポスター等による告知強化を行った。

	重大な相談案件	軽微な相談案件	合計	コンプライアンス委員会取扱件数

相談件数	20	13	33	7
------	----	----	----	---

(3) 安全安心対策の助成

▶運動部活動の安全性を向上させる為に、「医療従事者等の配置制度」を推進した。本制度は、大会や練習試合等の現場に医療従事者等を立ち合わせることによって、事故発生の際に瞬時に的確な対処ができるようにするものである。会員の申請に基づき、その費用を UNIVAS が負担して配置する事業として toto 助成事業に認定されている。制度の認知が進んだこと、大会が再開されたことから、予定を上回る配置件数/人数、金額となった。

	合計
配置件数 / 人数	56 件 / 299 人
金額	12,775 千円

[医療従事者等の配置大会一覧]

	大会名	開催場所	開催期間	配置人数
1	神戸学院大学体育会サッカー部 トレーニングマッチ	神戸学院大学ポートアイランドキャンパス	4/10~24	2
2	2022 年度東海学生柔道夏季優勝大会(第 69 回) 2022 年度東海学生女子柔道夏季優勝大会(第 29 回)	愛知県武道館	5/21	5
3	神戸学院大学体育会サッカー部 トレーニングマッチ	神戸学院大学ポートアイランドキャンパス	5/8~22	2
4	第 93 回関東学生馬術選手権大会 第 65 回関東学生馬術女子選手権大会	御殿場市馬術・スポーツセンター	5/13~15	3
5	令和 4 年度 第 68 回全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会	大阪府羽曳野市 はびきのコロセアム	5/13~15	2
6	神戸学院大学体育会サッカー部 トレーニングマッチ	神戸学院大学ポートアイランドキャンパス	6/4~26	2
7	2022 年度春季交流戦・平和台ボウルトーナメント	春日公園球場、水前寺陸上競技場、久留米陸上競技場	5/5~6/26	6

8	2022 春季フェスタ(東海学生アメリカンフットボール連盟)	中京大学豊田キャンパスラグビー場、テラスポ舞鶴、口論義運動公園サッカー場、名古屋商科大学日進キャンパスフットボール場、名城大学天白キャンパス第1グラウンド、四日市ドーム	4/23~6/25	3
9	令和4年度東京六大学野球春季リーグ戦	明治神宮野球場	4/9~5/29	6
10	第71回全日本大学野球選手権大会	明治神宮野球場、東京ドーム	6/6~12	4
11	2022年度関東学生テニストーナメント大会(本戦)	大宮けんぼグラウンド	5/9~5/17	2
12	2022年第51回春季全日本学生サーフィン選手権大会	千葉県南房総市千倉海岸	6/11	5
13	第16回全日本テコンドー選手権大会西日本地区大会 第15回全日本ジュニアテコンドー選手権大会西日本地区大会	兵庫県立武道館	5/21~22	4
14	第16回全日本テコンドー選手権大会東日本地区大会	山梨市民総合体育館	6/11~12	3
15	第71回東海地区国立大学体育大会 少林寺拳法競技	静岡大学(静岡キャンパス)体育館	6/26	1
16	サッカー部 トレーニングマッチ	神戸学院大学ポートアイランドキャンパス	7/2~24	2
17	2022年度春季交流戦・平和台ボウルトーナメント	春日公園球技場、水前寺陸上競技場、久留米陸上競技場	7/2~30	2
18	アメリカンフットボール部 練習試合	関西大学千里山キャンパス中央グラウンド	7/3	2
19	日本学生選抜スポーツ射撃競技大会	神奈川県伊勢原射撃場	7/1~3	1
20	全日本大学バスケットボール新人戦	大田区総合体育館、駒沢オリンピック公園、国立代々木第二体育	7/4~9	16

		館、エスフォルタアリーナ八王子		
21	第 41 回全日本大学王座決定戦	立命館 OIC フィールド、親里ホッケー場	7/15～18	4
22	2022 年度関西学生テニス選手権大会	ITC 韮テニスセンター	7/1～7/7	5
23	令和 4 年度関東学生馬術競技大会	山梨県馬術競技場(山梨県北杜市)	6/15～19	8
24	Sun Chlorella presents World University Basketball Series	国立代々木競技場第二体育館	8/9～11	3
25	2022 年度全日本学生柔道優勝大会(男子 71 回、女子 31 回)	日本武道館	6/25～26	18
26	サッカー部 トレーニングマッチ	神戸学院大学ポートアイランドキャンパス	8/6～28	2
27	2022 年度関西学生テニス選手権大会	ITC 韮テニスセンター	7/1～7/7	1
28	東海学生柔道体重別選手権大会	愛知県武道館	8/28	5
29	第 16 回全日本テコンドー選手権大会	船橋アリーナ	9/10～11	3
30	文部科学大臣杯 UNIVASCUP 令和 4 年全日本学生レスリング選手権大会	駒沢オリンピック公園総合運動場体育館	8/15～18	7
31	令和 4 年度第 94 回全日本学生馬術選手権大会、第 58 回全日本学生馬術女子選手権大会	ノーザンホースパーク	9/10～11	1
32	第 16 回全日本テコンドープムセ選手権大会	滋賀県立武道館	10/23	2
33	全日本学生柔道体重別選手権大会	日本武道館	10/1～2	7
34	文部科学大臣杯令和 4 年度全日本学生レスリンググレコローマンスタイル選手権大会	駒沢オリンピック公園総合運動場	10/19～20	4
35	2022 年度全日本学生テニス選手権大会	四日市テニスセンター	8/11～23	8

36	2022 年度関東学生テニス選手権大会(本戦)	大宮けんぼグラウンド	9/21~28	3
37	2022 年度全日本大学対抗テニス王座決定試合	愛媛県総合運動公園	10/7~14	1
38	中四国学生アメリカンフットボール連盟秋季公式戦	広島広域公園第二球技場	8/27~11/20	35
39	全日本学生馬術大会 2022	大宮けんぼグラウンド	10/29~11/6	4
40	高松宮記念杯男子 65 回女子 58 回全日本学生選手権大会	スカイホール豊田、岡崎市中央総合体育館、刈谷市体育館、ウイングアリーナ刈谷	11/3~7	13
41	2022 年第 51 回秋季全日本サーフィン選手権大会	千葉県鴨川市東条海岸	10/22~23	4
42	2022 年度日本学生オリエンテーリング選手権大会	富士見高原リゾート	11/5~6	1
43	2022 年度全日本学生室内テニス選手権大会	江坂テニスセンター	12/4~11	5
44	第 46 回リーグ戦、2022 年度全日本大学アメリカンフットボール選手権	春日公園球技場、博多の森陸上競技場、平和台陸上競技場	9/10~12/24	6
45	東海学生アメリカンフットボール 2022 リーグ戦及び日本選手権トーナメント	テラスポ鶴舞他	9/4~12/4	3
46	第 48 回内閣総理大臣杯令和 4 年度全日本大学レスリング選手権大会	金岡公園体育館(大阪府堺市)	11/19~20	5
47	第 74 回全日本大学バスケットボール選手権大会	国立代々木第二体育館、駒沢オリンピック公園、大田区総合体育館	12/3~11	26
48	2022 年度北陸学生アメリカンフットボール秋季戦/全日本大学選手権トーナメント	金沢市営球技場、広島広域公園第二球技場、博多の森陸上競技場	10/2~11/20	4
49	全日本大学バレーボール選手権大会	大田区総合体育館	11/28~12/4	1
50	第 71 回男子第 44 回女子全日本学生ホッケー選手権大会	大井ホッケー場	11/2~11/6	9

51	第 61 回全日本学生なぎなた選手権大会	長野県 松本市総合体育館	8/6~7	2
52	令和 4 年度東京六大学野球秋季リーグ戦	明治神宮野球場	9/10~11/6	6
53	全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会(Ⅱ部)	はびきのコロセアム	11/4~6	3
54	全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会(Ⅰ部)	はびきのコロセアム	11/29~12/1	4
55	全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会(女子)	はびきのコロセアム	12/16~17	3
56	第 33 回全日本大学アルティメット選手権大会	恵庭墓園多目的広場、他	8/27~10/2	10
配置人数 合計				299

(4) 安全安心ガイドラインの啓蒙活動

- ▶今年度より、安全安心に関するテーマを分け、隔月で「安全安心セミナー」をオンラインで開催。「安全安心ガイドライン」に記載している 4 つの重大事故と安全管理体制の構築について安全安心作業部会の部会員が講師を務めた。

日程	テーマ	講師	参加者数(人)
6/28	熱中症	川原貴	253
8/30	心停止	田中秀治(安全安心作業部会)	44
10/28	頭部外傷	渡辺一郎(安全安心作業部会)	35
12/15	頸部外傷	小山勝弘(安全安心作業部会)	13
2023/2/28	安全管理体制の構築	田中秀治(安全安心作業部会)	48

3. 大学スポーツ認知拡大の推進事業

(1) 競技横断型大学対抗戦の開催

- ▶大学スポーツとしてのブランディングと露出強化によるファンの開拓を目的として、「UNIVAS CUP 2022-23」と銘打った競技横断型大学対抗戦を開催した。

[指定大会の概要]

開催指定大会	・ 31 競技 34 大会 (下記一覧表参照)
--------	-------------------------

[開催指定大会一覧]

	大会名	開催期間	開催場所	参加大学数	総ポイント数
1	全日本大学野球選手権記念大会	6/6-6/12	明治神宮野球場 東京ドーム	男子 27 校	3,770
2	全日本学生アーチェリー王座決定戦	6/18-6/19	つま恋リゾート	男子 18 校 女子 18 校	1,310
3	全国大学/全国女子大学ゴルフ対抗戦	6/21-23	北海道苫小牧	男子 18 校 女子 12 校	1,350
4	全日本学生なぎなた選手権大会	8/7	長野県松本市	男女 40 校	1,000
5	全日本学生テニス選手権大会	8/11-8/21	四日市 テニスセンター	男子 60 校 女子 60 校	5,200
6	全日本学生レスリング選手権大会	8/15-8/18	駒沢オリンピック公園体育館	男子 41 校 女子 20 校	1,000
7	日本学生選手権水泳競技大会	8/12-9/4	辰巳国際水泳場 横浜国際プールなど	競泳：男子 26 校 競泳：女子 28 校 水球：男子 16 校 水球：女子 7 校 AS：16 校 飛込：男子 9 校 飛込：女子 11 校	3,040
8	全日本学生カヌースプリント選手権大会	8/30-9/3	石川県小松市木場潟カヌー競技場	男子 15 校 女子 14 校	1,000
9	全日本学生ソフトテニス大会	9/2-9/7	山口県山口市など	男子 85 校 女子 69 校	3,800
10	全日本大学選手権大会(ローイング)	9/7-9/11	戸田ボートコース	男子 69 校 女子 69 校	1,060
11	全日本大学ソフトボール選手権大会(男子)	9/9-9/12	富山県岩瀬スポーツ公園ソフトボール場	男子 16 校	1,020
12	全日本学生テコンドー選手権大会	9/10	千葉県船橋アリーナ	男子 20 校 女子 20 校	1,000
13	全日本大学ソフトボール選手権大会(女子)	9/17-9/20	愛知県安城市総合運動場	女子 16 校	1,20
14	全日本大学アルティメット選手権大会	10/1-10/2	福島県檜葉町 J-VILLAGE	男子 16 校 女子 16 校	1,000

15	全日本学生柔道体重別選手権大会	10/1-10/2	日本武道館	男子 65 校 女子 40 校	2,660
16	日本 U23 トライアスロン選手権	10/9	東京お台場	男子 6 校 女子 5 校	1,000
17	全日本学生スポーツ射撃選手権大会	10/13- 10/16	能勢町ライフル射撃場	男子 45 校 女子 38 校	1,000
18	秋季全日本学生サーフィン選手権	10/22- 10/23	千葉県鴨川市	男子 31 校 女子 9 校	1,000
19	全日本学生馬術大会	11/1-11/6	山梨県馬術競技場	男女 40 校	1,000
20	全日本学生ホッケー選手権大会	11/2-11/6	大井ホッケー競技場	男子 24 校 女子 16 校	1,000
21	全日本学生ハンドボール選手権大会	11/3-11/7	愛知県豊田市など	男子 32 校 女子 32 校	3,060
22	日本学生オリエンテーリング選手権 ロング・スプリント部門	11/5-11/6	長野県諏訪郡	男女 43 校	500
23	少林寺拳法全日本学生大会	11/6	日本武道館	男女 130 校	2,370
24	全日本大学アメリカンフットボール選手権	11/13- 12/18	ヤンマースタジアム長居など	男子 8 校	1,940
25	全国大学ラグビーフットボール選手権大会	11/20-1/8	秩父宮競技場など	男子 14 校	2,900
26	全日本大学空手道選手権大会	11/20	日本武道館	男子 64 校 女子 54 校	2,450
27	全日本バレーボール大学男女選手権	11/28-12/4	大田区総合体育館など	男子 64 校 女子 64 校	4,510
28	全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会（男子）	11/29-12/1	サイデン化学アリーナ	男子 31 校	500
29	全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会（女子）	12/16- 12/17	大阪府はびきのコロセウム	女子 16 校	500
30	全日本学生スポーツチャンバラ選手権大会	12/3-12/4	小田原アリーナ	男女 40 校	1,000
31	全日本大学バスケットボール選手権大会	12/3-12/11	国立代々木競技場第二体育館など	男子 40 校 女子 40 校	3,830

32	全日本学生スキー選手権大会	2/23-2/26	秋田県鹿角市	男子 63 校 女子 51 校	1,010
33	全日本学生グライダー競技大会	3/6-3/11	埼玉県妻沼滑空場	男女 8 校	1,000
34	日本学生オリエンテーリング選手権 ミドル・リレー部門	3/11-3/12	栃木県塩谷郡	男女 43 校	500

▶UNIVAS CUP 指定大会の熱戦の様相や出場アスリートの活躍を撮影し、SNS での発信やオフィシャルサイトに「PHOTO GALLERY」を開設して公開するとともに、My UNIVAS サービスの一環として、大会に出場した学生に写真を届ける”写真データダウンロードサービス”を展開した。

掲載競技	アーチェリー、ゴルフ、なぎなた、レスリング、テニス、ボート、スポーツ射撃、水球、柔道、ハンドボール、テコンドー、ウェイトリフティング、アルティメット、馬術、空手、カヌー、アメリカンフットボール、スポーツチャンバラ、オリエンテーリング、ソフトボール、ホッケー、トライアスロン 22 競技
ダウンロード数	8,462 枚

(2) 試合動画の配信

▶大学スポーツの注目度を向上させ、ファン開拓の促進を目的として、UNIVAS CUP 指定大会を中心に試合の動画を、UNIVAS Plus、UNIVAS オフィシャルサイトで無料配信した。同時に、パートナーの広告掲載によりパートナー企業にも露出価値を提供した。

本年はスポーツイベント等開催支援事業の補助も受け、ライブ配信の拡大、配信対象大会の拡大をはかり、バスケットボール、ソフトテニス、柔道、空手、少林寺拳法等のライブ配信数を昨年より増加させた。

[配信結果]

- ・配信試合数：3,833 試合（前年比 160.9%）内ライブ 3,712 試合
- ・動画再生回数：2,718,238 回（前年比 107.8%）

[競技大会別配信実績]

	大会名	開催期間	配信試合数		視聴回数	
			ライブ	ハイライト	ライブ	アーカイブ
1	全日本大学野球選手権	6/6-6/12	-	26	-	2,506

2	全日本学生アーチェリー王座決定戦	6/18-6/19	4	12	1,172	5,271
3	全国大学/全国女子大学ゴルフ対抗戦	6/21-23	-	2	-	1,583
4	全日本学生なぎなた選手権大会	8/7	102	-	3,446	2,185
5	全日本学生テニス選手権大会	8/11-8/21	345	-	167,947	25,972
6	全日本学生レスリング選手権大会	8/15-8/18	822	-	3,436	5,402
7	日本学生選手権水泳競技大会	8/28-9/4	水球 22 AS 3	競泳 32	水球 21,487 AS 2,153	競泳 159 水球 9,017 AS 1,274
8	全日本学生カヌースプリント選手権大会	8/30-9/3	136	-	31,591	6,337
9	全日本学生ソフトテニス大会	9/2-9/7	32	-	31,171	5,540
10	全日本大学選手権大会(ボート)	9/7-10/31	88	-	40,046	13,188
11	全日本大学ソフトボール選手権大会(男子)	9/9-9/20	31	-	36,212	6,432
12	全日本学生テコンドー選手権大会	9/10-9/11	78	-	2,458	2,900
13	全日本大学ソフトボール選手権大会(女子)	9/17-9/20	31	-	73,573	14,543
14	全日本大学アルティメット選手権大会	10/1-10/2	41	-	5,690	2,629
15	全日本学生柔道体重別選手権大会	10/1-10/2	532	-	22,340	8,917
16	日本 U23 トライアスロン選手権	10/9	-	2	-	551
17	全日本学生スポーツ射撃選手権大会	10/13-10/16	-	8	-	1,530

18	全日本学生サーフィン選手権	10/22-10/23	-	28	-	1,107
19	全日本学生馬術大会	10/29-11/6	5	--	4,610	1,377
20	全日本学生ホッケー選手権大会	11/2-11/6	40	-	25,687	6,073
21	全日本学生ハンドボール選手権大会	11/3-11/7	62	-	78,246	13,117
22	日本学生オリエンテーリング選手権 ロング・スプリント部門	11/5-11/6	2	-	1,274	762
23	少林寺拳法全日本学生大会	11/6	56	-	5,845	3,772
24	全日本大学アメリカンフットボール選手権	11/13-12/18	6	1	8,512	3047
25	全日本大学空手道選手権大会	11/20	170	-	1,052	993
26	全日本バレーボール大学男女選手権	11/28-12/4	128	-	257,775	36,463
27	全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会（男子）	11/29-12/1	10	-	7,620	1,068
28	全日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会（女子）	12/17-12/18	10	-	2,949	745
28	全日本学生スポーツチャンバラ選手権大会	12/3-12/4	50	-	2,419	2,302
29	全日本大学バスケットボール選手権大会	12/3-12/11	126	2	49,399	9,361
30	全日本学生スキー選手権大会	2/23-2/26	17	-	8,093	3,915
31	全日本学生グライダー競技大会	3/6-3/11	-	1	-	3/22 公開
32	日本学生オリエンテーリング選手権 ミドル・リレー部門	3/11-3/12	2	-	1,246	576

▶ 試合動画の制作に際しては、学生の参加を推進した。

1)試合実況アナウンサーとして学生を起用

- ・事前にプロアナウンサーによるアナウンス講座を開催、受講学生が実況放送を担当した。

アナウンス講座	第1回：6/5 大阪工業大学 梅田キャンパス 第2回：6/15 クロスコープ新橋	参加者数 第1回：9名 第2回：11名
---------	---	---------------------------

- ・学生アナウンサー実況試合は以下の通り。

東都大学野球	首都大学野球	アーチェリー	レスリング	テニス
フライングディスク	ハンドボール	バレーボール	ウエイトリフティング	

2)試合動画制作業務を学生が担当

- ・機材の貸し出し、使用方法の実地指導を行い、以下の試合にて学生が制作配信を行った。

首都大学野球 (68 試合)	バレーボール関東リーグ戦 (62 試合)	ハンドボール関東リーグ戦 (2 試合)
-------------------	-------------------------	------------------------

(3) 年間表彰の実施

➤UNIVAS の理念の浸透と実現に向けて、学生スポーツにおける学生アスリート・大学・競技団体等各関係者のあるべき姿・目指すべき姿を広く周知するために、理念に叶った活動を行った個人と組織団体の表彰を行う UNIVAS AWARDS 2022-23 を開催した。3 部門の最優秀賞には「文部科学大臣賞」、1 部門の最優秀賞には「スポーツ庁長官賞」を授与した。応募団体数 47 団体（44 大学・3 競技団体）・応募総数 143 件。

過去 3 度はインターネット配信形式での開催だったが、本年度は初めて受賞者を招待する表彰式を開催。優秀賞受賞者にはゲストアスリート、パートナー企業代表者、会長、副会長から表彰状、副賞を贈呈。チアリーディングやアカペラサークルによるパフォーマンスで会場に華を添えた。

[UNIVAS AWARDS 2022-23 コース別応募数表彰数]

#	表彰名	表彰数			応募数
		最優秀賞	優秀賞	入賞	
1	マン・オブ・ザ・イヤー*	1	7	17	25
2	ウーマン・オブ・ザ・イヤー*	1	7	16	24
3	パラアスリート・オブ・ザ・イヤー*	1	4	3	8

4	サポーターズ・オブ・ザ・イヤー	2	5	11	18
5	スポーツマンシップ・オブ・ザ・イヤー	-	5	5	10
6	ルーキー・オブ・ザ・イヤー	1	6	4	11
7	アルムナイ・オブ・ザ・イヤー	1*	-	-	4
8	コーチ・オブ・ザ・イヤー	1	2	13	16
9	人材育成支援に関する優秀取組賞	1	2	4	7
10	学修支援に関する優秀取組賞	1	2	-	3
11	安全確保に関する優秀取組賞	1	2	1	4
12	大会・プロモーションに関する優秀取組賞	1	2	3	6
13	スポーツ統括部局/SA 賞*	1	2	4	7
	合 計	13	46	81	143

*1-3 の最優秀賞には文部科学大臣賞、13 の最優秀賞にはスポーツ庁長官賞を授与。

*アルムナイ・オブ・ザ・イヤーの応募 4 件は入賞に及ばなかった。

4. 大学スポーツファン拡大と組織化推進事業

(1) My UNIVAS・Our UNIVAS の登録

▶運動部学生を登録してデータベース化し、運動部・大学や競技団体が学生を管理できるようにするプラットフォームを開発、学生や運動部、大学や競技団体の登録を実施。

	内容
My UNIVAS	<ul style="list-style-type: none"> ・ID 登録やログインをよりスムーズに行うための「Google アカウント登録機能」の追加、My UNIVAS サービスの認知向上や PR 促進のための「ランディングページ」の追加、などの開発を実施。 ・2020/7/27 リリース、登録者数 19,686 人 ※2023/3/13 時点
Our UNIVAS	<ul style="list-style-type: none"> ・競技団体が競技者登録等の目的のために情報収集を行うことができる「ファイル収集機能」の開発を実施。 ・2020/7/27 リリース、管理者登録 167 大学、22 競技団体 ※2023/3/13 時点

▶My UNIVAS 登録者には以下のオンラインサービスを提供している。

デュアルキャリアプログラム	・オンラインセミナー、適性診断テスト、キャリア相談が可能
---------------	------------------------------

動画コレクション	・セミナー、研修会などの各種動画の視聴が可能
PHOTO GALLERY	・UNIVAS CUP 指定大会の公式フォトのダウンロードが可能
UNIVAS Plus プレミアムプランの無料利用	・学生ユーザーであれば、UNIVAS Plus のプレミアムプランのサービスを無料で利用可能

(2) UNIVAS Plus のリリース

▶2022年10月11日より、プレミアムプランの提供を開始。機能提供の他、大学スポーツ振興支援金制度の実施により、大学スポーツの収益化に着手した。

・ダウンロード数	156,328 ※2023年3月31日時点
・ID登録数	121,370 ※2023年3月31日時点
・プレミアムプランユーザー数（学生を含む）	3,053 ※2023年3月31日までの累計
・アーカイブ動画本数	30競技 6,804本 ※2023年3月31日時点

(3) SNS フォロワーの拡大

▶Instagram オフィシャルアカウントの開設に加え、Twitter のコンテンツ更新を専門会社に委託し、タイムリーな情報発信を大学生へ展開し、フォロワーの拡大を図った。

	フォロワー数	月平均投稿数	備考
Twitter	7,682	120	投稿数は前年比 116%増
Instagram	6,352	24	約 50%が 13-24 歳の学生ユーザー 投稿数は今年の 2 倍

5. 会員組織運営のサポート推進事業

(1) スポーツ庁委託事業「感動する大学スポーツ総合支援事業」の実施

▶スポーツ庁の委託事業である「感動する大学スポーツ総合支援事業」を受託し、「大学スポーツの振興に関する調査研究事業」及び「大学スポーツ資源を活用した地域振興モデル創出支援事業」を実施した。

「大学スポーツ資源を活用した地域振興モデル創出支援事業」では、大学の有するスポーツ資源を有機複合的に活用し、自治体等の地域の組織・団体とも十分に連携・協力し、地域の

課題を解決する取組をモデル的に実施、事業の検証分析を実施しその成果の全国への横展開を目的として、モデル大学を募集し 13 大学を採択。2023 年 3 月に成果報告会を実施した。

(2) コンプライアンス研修会の実施

▶運動部学生、大学・競技団体管理者や指導者を対象に、コンプライアンスに係る様々なテーマのオンライン研修会を毎月開催（全 12 回開催、延べ 2,068 名参加）し、知見の共有と意識の徹底を図った。

テーマ	開催日	対象者	参加人数
コンプライアンス入門	5/13	運動部学生	102
個人情報保護法について	5/27	運動部管理者/指導者	47
ハラスメント（パワハラ等）	6/24	運動部管理者/指導者	85
	7/29	運動部学生	1,014
SNS のリスク	8/26	運動部学生/管理者/指導者	35
SNS の法律問題	9/30	運動部学生/管理者/指導者	37
ハラスメント (セクハラ・性・障がい者差別等)	11/25	運動部管理者/指導者	68
	12/16	運動部学生	360
アンチ・ドーピング	1/27	運動部学生/管理者/指導者	23
SNS の効果的な活用	2/10	運動部学生/管理者/指導者	195
薬物乱用防止/トラブル防止	2/24	運動部学生/管理者/指導者	49
運動部のガバナンス	3/24	運動部管理者/指導者	53

(3) 「大学運動部におけるガバナンス向上のための手引書」の作成

▶コンプライアンスの徹底及びガバナンス体制の整備を目指して、過去 2 年に渡り作成した「大学スポーツ処分事例集（競技団体編）」及び「大学における大学スポーツ不祥事対応に係る手引書」に続き、今年度は運動部のガバナンス体制の実態調査を行った上で「大学運動部におけるガバナンス向上のための手引書」を発行した。

大学運動部におけるガバナンス向上のための手引書	A4 サイズ・54 ページ
-------------------------	---------------

(4) 組織ガバナンス確立支援

▶会員競技団体における法人格取得に関する相談受付、アドバイスを実施した。法人格を有していない 10 団体（日本学生ソフトテニス連盟、日本学生射撃スポーツ連盟、全日本学生カヌー連盟、日本学生ゴルフ連盟、日本学生ホッケー連盟、全日本学生テニス連盟、全日本学生

ハンドボール連盟、全日本学生アーチェリー連盟、全日本学生レスリング連盟、全日本大学ソフトボール連盟) に対して、定期的な面談、法務サポートを実施し、今年度は 9 団体が法人格を取得した。また、法人設立後も発生する業務や必要な手続きについて、組織運営に関するアドバイスを継続している。

- ▶2021 年 8 月 4 日加盟競技団体向け「法務相談窓口」を開設した。上述の 10 団体に対して、法務サポートを実施した。具体的には、法人格取得のサポート、規程等の整備、不祥事対応等を実施した。メールでの対応、web 会議を中心に競技団体へのサポートを実施しており、競技団体のガバナンス向上及び不祥事予防に取り組んでいる。

(5) 各種データ提供体制の整備

- ▶総合推進委員会に設置した「DATA LIBRARY 検討部会」にて大学スポーツの実態調査に着手するとともに、スポーツ庁委託事業「感動する大学スポーツ総合支援事業」における大学スポーツの振興に関する調査研究事業の統括を行った。

IV 事業を支える 4 施策

1. 会員の維持と開拓

- ▶会員とのコミュニケーションを緊密化すべく、以下の会議を開催した。

会議名	日付	開催方式	参加団体数
大学代表者懇談会	12/8	ハイブリッド	73 大学
2022 年度提供サービスに関する説明会	4/18、20、21	オンライン	13 競技団体
UNIVAS Plus に関する新サービスの説明会	5/24、27	オンライン	22 大学、8 競技団体
運動部学生向け UNIVAS 情報共有会	6/6、9	オンライン	15 大学、1 競技団体
2022 年度下期施策と事例共有会	10/5、11	オンライン	36 大学、5 競技団体

- ▶会員に対する事業紹介を目的としたメールマガジン「UNIVAS 通信」を毎月配信した。

購読登録者数	494 名
--------	-------

- ▶未加盟大学との個別コミュニケーションを積極的に行い、3 大学、1 競技団体が正会員として加

盟、2競技団体が連携会員として加盟した。

【大学】流通科学大学	正会員	4/27 加盟
【競技団体】一般社団法人全日本学生馬術連盟	正会員	4/27 加盟
【大学】北海道科学大学	正会員	5/10 加盟
【大学】立正大学	正会員	6/23 加盟
【競技団体】一般社団法人サップリーグジャパン	連携会員	1/27 加盟
【競技団体】一般社団法人日本ネットボール協会	連携会員	1/27 加盟

2. 新たなパートナー開拓の推進

- ▶新型コロナウイルス感染拡大により経済活動、社会活動が麻痺状態であったこともあり、新たなパートナー企業の開拓には至っていない。既存パートナー企業4社に対しては、企画会議を週次定例開催するなど密な連携を図った。

3. 学生の意見を反映する仕組みづくり

(1) UNIVAS STUDENT LOUNGE の活動 (2022 年度 19 名)

- ▶UNIVAS の活動に学生を参画させる目的で、大学スポーツの魅力を発信する PR チームを試合後アスリートのインタビューなどを中心に映像制作をするチームに分かれて活動を行いました。2年目となり、これまでいなかった中国（環太平洋大学）、四国（徳島大学）地域のメンバーが新たに加わり、19名の学生が参加しました。2年目は、学生自身が企画を考え、取材交渉、現地訪問、プロモーションまで行うようになり、「ユニ散歩」では、大学の魅力やスポーツ活動、施設の紹介などを行い、普段見れない場所や各クラブの良さなどを発見できる内容になっています。また「NEXT ATHLETE」ではインカレ前に注目するアスリートをピックアップし、1日密着をして、その素顔やスポーツを通して学んだことをドキュメンタリー風に仕上げ、魅力あるコンテンツを作ってきました。実際に UNIVAS CUP の 20 の大会会場へ赴き、現地で活躍する選手やスタッフへのインタビューなどをして、学生スポーツの魅力を現地よりタイムリーに発信したり、スポーツを支える学生スタッフは交流会を通して悩みを共有する場を提供し、気づきやモチベーションアップにつながる取り組みを実施しました。2023 年度は、8 名が卒業し、3 月 1 日からは北翔大学、江戸川大学、明治学院大学、中央大学、大阪大谷大学、愛知工業大学から 15 名のメンバーが参加し、これまで不在だった北海道や関西地域のメンバーが入ったことで、色々な地域の情報を発信していくことができる基盤が出来ました。

(2) ありもり会議の開催

- ▶本会は、大学スポーツの魅力を発信していくと同時に、運動部学生を取り巻く環境のリアルな状態を知ること、より安全安心な環境整備の支援に繋げていくために、UNIVAS の主役

である運動部学生等の生の声を聞くもので、今年度は会員大学のご協力を得てシンポジウム形式で実施しました。

月日	開催場所	内容	参加人数
9/6	順天堂大学	<p>テーマ「生理とスポーツ」</p> <p>女性学生アスリートが抱えるさまざまな課題に対し、知見のある有識者のアドバイスや対話を通じて、彼女らが課題解決に向けたヒントを得て、その後の実践につなげ、安全で安心なスポーツ活動に取り組める環境を創出することを目指し、女性アスリートが優れたコンディションでスポーツ活動を行えるように、これまで培った研究の成果を実践し、運動部学生や指導の現場に還元されている順天堂大学のご協力を得て実施。</p> <p>【登壇者】</p> <p>有森裕子氏（UNIVAS 副会長/元陸上競技日本代表）</p> <p>伊藤華英氏 （順天堂大学 OG/一般社団法人スポーツを止めるな理事・1252 プロジェクトリーダー）</p> <p>北出真理氏 （順天堂大学医学部産婦人科学講座 教授、順天堂大学女性スポーツ研究センター 副センター長）</p> <p>桜間裕子氏 （順天堂大学女性スポーツ研究センター特任助手）</p> <p>室伏由佳氏（順天堂大学スポーツ健康科学部 准教授）</p>	183 名

4. 組織運営体制の整備

(1) 理事体制

▶前期に続き以下の理事 24 名、監事 2 名の体制にて事業運営を行った。

代表理事 会長	福原 紀彦	理事	大橋 節子
執行理事 副会長	川原 貴	理事	冲永 寛子
執行理事 副会長	有森 裕子	理事	国吉 誠
執行理事 専務理事	池田 敦司	理事	小林 至
執行理事 常務理事	筱崎 隆広	理事	小林 勝法
執行理事	境田 正樹	理事	芝井 敬司

執行理事	友添 秀則	理事	田中 愛治
理事	伊坂 忠夫	理事	内藤 雅之
理事	石井 隆憲	理事	藤本 淳也
理事	泉 正文	理事	寶金 清博
理事	伊藤 亮介	理事	三宅 仁
理事	梅村 清英	監事	生田 圭
理事	大澤 英雄	監事	大塚 則子

▶以下の通り理事会を開催し、協会事業推進を行った。無印:オンライン、*:ハイブリッド開催

4/27	通常理事会*	5/10	臨時理事会	6/23	臨時理事会
7/27	臨時理事会	8/24	臨時理事会	9/20	臨時理事会
10/24	臨時理事会	11/28	通常理事会	12/22	臨時理事会
1/27	臨時理事会	2/21	臨時理事会	3/28	臨時理事会

(2) 事務局体制

▶2023年3月末現在の事務局職員体制は以下の通り。

部	部長を含むメンバー数
デュアルキャリア部	5名(うち兼務2名)
安全安心部	2名(うち兼務1名)
事業企画部	6名(うち兼務1名)
DB開発部	5名
総合推進部	5名(うち兼務2名)
広報部	2名
組織運営部	4名
法務部	1名

(以上)